

林檎の森

りんごのもり

6
2022
vol.479



特集 1

JA相馬村 抜根事業の歴史

特集 2

抜根事業に若い力が加わった

組合員による組合員のための抜根事業
そこには先人たちの労苦と思いがつまっていた

J A 相馬村 抜根事業の歴史

組合員による抜根事業

園地更新の歴史は抜根の歴史でもあり、試行錯誤をしては時代に合ったやり方を模索してきた。昭和41年から園地更新を推し進めてきた当時の当J A石岡昭弘参事が、昭和50年代後半、新規就農をしてコンボを所有していた成田光生さんに「品種更新事業に抜根が必要だがやってみないか」と声をかけたことから、組合員による抜根事業が始まった。

本特集で、その40数年の歴史を見ていきたい。

品種更新事業の背景

明治の末、主要品種は国光（こつ）

こつと紅玉であり、青森県だけを見ても75%もの高率を示していた。しかしその比率が長期に渡って非常に高く、また戦後の果樹産業の振興で多様な良品質果実が流通しはじめたこともあり衰退の一途をたどる。国光は本質的に品質が劣り、紅玉はその特徴の酸味が甘味志向の消費者に合わなくなってきたことに加え、着色していれば早期出荷が有利販売になるとして、酸味のより強い未熟果が流通してしまい需要が急速に減退した。

これが昭和40年代初頭のりんごの大不況であり、出荷経費さえ補填できず、収穫果100万箱が山や川に棄てられる「山川市場」と呼ばれる状況すら現出した。その後、基幹品種を巻き込んだ全国規模の品種更新が行われた。

相馬村りんご品種更新 推進協議会発足

昭和41年2月、村、農協が主体になり、指導機関、関係組織を網羅し、協議会を設立した。経済的に有利、且つ合理的な品種構成の促進を計り、相馬村りんご産業の発展に寄与することを目的とし、国光・紅玉から、ふじ・スターキング・王林・ジョナゴールドと、新品種に更新した。

また、計画を具現化し普及するための協議会活動を補完する目的で、実践団体として「りんご愛好会」が3年半後に設立された。

昭和44～45年は、農協通常総会の会場（相馬中学校体育館）の裏側で芽つぎ用穂木を無償で配布。国光、紅玉などの品種は老木の抜



昭和49年4月 りんご愛好会、第6回通常総会

根を進めることと平行して、健全な樹については台木とし、配布された新品種を接ぎ木することも進められた。

爆薬による抜根、

植穴掘り

抜根及び植穴掘りに爆薬を利用することは、粗皮病治療とりんご樹を育成しやすい状態にする効果



昭和50年頃 積極的な高接更新



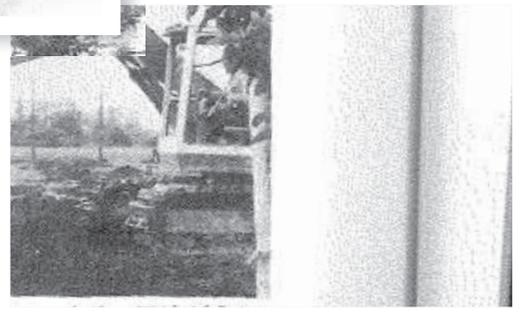
爆薬による植穴掘り



りんごの土壌改良に活躍した
石灰注入機



昭和49年 りんご愛好会視察 新品種にみとれる



ユンボによる天地返し作業

が大きく、実演会を実施したところ1千発余りの申込みがあった。当時は助成もあったが、その後取締りが厳しくなり、補助事業は打ち切りへ。しかし効果が高いことから53年頃まで実施されていた。

平成の品種更新

平成15年から3年間、当JAでは緊急事業推進強化策が断行された。そのうち4つのある柱の第一番目に、飛馬印りんごの銘柄再構築を掲げて、売れる品種と系統更新を推進したところ、苗木の申込みは約二万本あった。

背景にはりんご価格の低迷がある。特に平成13年産りんごは、4月の低温と降霜による結実不良や変形が発生するなどの被害を受けたほか、長引く経済不況が影響し1〜3月にはkg100円台に落ち込むほどの超安値であった。ただ収穫量前年比116.4%と多かったことから生産者の手取額はそこまで悪い訳ではなかった。しかし、生産費を補える価格ではなかったため、将来を見据えて前述の品種

更新を推し進めたのである。

「品種に勝る技術なし」

現代に立ち返ると、温暖化による果面ヤケや着色遅れ、高齢化や補助労働力減少による着色管理に係る労力確保の難しさ、春の天候不順による着果不足や摘果遅れによる隔年結果で収量の増減が大きいのことなど、課題は山積である。

これらの課題を解消するため、当JAは現在、早生種・中生種の赤色品種における着色管理の軽労化と着色基準の見直しを図るほか、当JAが指定する着色優良系統への更新に対して、助成をしている。制度を開始した令和2年秋から令和4年春までの苗木助成本数は合計で4,531本のぼこいる。

このように、日々変化する気象・流通・消費者嗜好に対応するため品種更新が行われ、そこには抜根事業が常に必要不可欠である。次頁からは、現在の抜根事業に携わる組合員を紹介したい。



抜根事業に若い力が加わった

本年春、りんご園には雪害が多くみられ、抜根作業は合計560時間と、昨年比1.4倍であった
そんな折、頼もしい若手組合員が抜根事業のメンバーに仲間入りをした

友人の依頼があると個人的に抜

根を請け負ってきた清野さん。去年、当JA職員から田んぼの溝切り作業に誘われ軽い気持ちで参加したという。作業中に職員と交わした雑談がきっかけで、それまで親交のなかった成田光生さん、成田光弘さんと話す機会が設けられた。

抜根作業が厳しくなってきたと光生さん。清野さんは、それならやはり、自分がやってみようと思いい「わあが仕事覚えるまで、まだいできる？（僕が仕事を覚えるまで、まだいしてほしい）」と伝えた

そつた。

清野さんの取材に伺った日は、五所地区の成田守さんの園地での作業であった。

守さんは「労働力に合わせて園地作業の集約化をしよう」と依頼した。清野さんとは初対面だけど、抜根した穴の段差をなくすように土を踏み固めてくれるなど、新人でも心配りが行き届いた丁寧な仕事に関心しています。大変助かります」と話していた。

一方清野さんは、今は覚えることと、安全に作業を進めることで



樹をアームで抑える作業

頭がいつぱいだという。抜根した樹を園主がチェーンソーで切りやすいようユニボのアームで抑える作業では、自分の腕を少し動かしただけでアームが横に振れてしまいうため、大きな怪我に繋がる危険性がある。

現在の抜根担い手

(当JA伐根事業歴)

- 黒滝 成田光生さん(約43年)
- 相馬 成田光弘さん(約10年)
- 紙漣沢 清野大輝さん(1年目)

そのようなことが無いよう、全ての作業を安全に終わらせることに集中している清野さんの姿勢に頼もしさを感じた。

「20歳の頃にはもう抜根をやっていたから、少なくとも43年は続けていることになるな」

そう語ってくれたのは成田光生さん。

前ページで特集した、相馬村りんご品種更新推進協議会に付随した抜根作業の立ち上げ当初から、この事業を担ってきた。抜根を請け負うには、個人でユニボを持っている必要があるが、光生さんは就農当手を振り返って、

「高校卒業してすぐの孫が就農したとあって、当時JA理事だった祖父が、必要なものを揃えてくれたからユニボも持っていた。若い孫



慎重な操作で作業を進める光生さん

■ ■ ■

「もう一人の担い手は、成田光弘さん。光弘さんは仙台で農機メーカーに勤務していた頃、70tダンブに乗っていたこともあり、コンボの操作はお手の物。お父様の年齢を気遣いUターンして就農してからは個人的に抜根を請け負っていたが、10年ほど前からJA抜根事業の一員となった。」

「(コンボの)トラックへの積み下ろしを1日に10回ほどやることもあるけど、夕方になり集中力が切れてくると危険。抜根は安心安全が第一。園主の人に喜んでもらえることに、とてもやりがいを感じている」

光弘さんが作業していたのは、雪害で折れてしまった樹の抜根を依頼した宮川明彦さんの園地。



光弘さん(左)と宮川さん園主との信頼関係に熱いものを感じた

■ ■ ■

「抜根は誰にでも頼めるというものじゃない。こういう人だから信頼して頼めるんだよ」

根を「か所にまとめたり、地中に根が残らないよう掻き出したりと、その丁寧な仕事によって信頼されているのだと分かった。」

大場組合長はこう語る。

「抜根はJA事業の中でも特に、農家のみなさまに喜ばれている。依頼料のおよそ半分をJAで負担していることから、業者に依頼するより組合員負担が少ない点と、なにより同じ農家なので、後工程まで理解して作業にあたってくれる点が当事業の一番の強み。担い手の方々には組合員の畑もよく知っており、地域の信頼も厚い貴重な人材。今後の清野さんにも期待している」

■ ■ ■

一言に抜根と言っても、農地の若返りや整備、労働力の集約化などさまざまな目的があり、この事業には先人の苦勞やりんご作りの歴史が深く関わっていました。

また、若い担い手誕生のきっかけは、交流でした。

「コロナ禍以降、そうした交流の機会が減っていますが、清野さんのお話にあった溝切り作業のよつこ、集まって農作業をする場所へ新しい人を誘ってみることは、地域農業の可能性を広げることに繋がるかも知れません。私たち二人一人の声掛けが、地域の未来を作ります。」

食と農を通して地域活性を目指す

JA相馬村へ新入組した職員へインタビュー

好きなものを食べてるポーズをしてください！



工藤 弘美 (直売所勤務)

- ・ミニトマトが好き！
トマト類全般が好きで、トマトジュースは毎朝飲んでいきます。
- ・休日は家族でキャンプをしたりBBQをしたりしています。



山内 昭彦

(相馬支所フルーツステーション勤務)

- ・こんぶのおにぎりが好きです。
- ・学生時代はサッカー部で、Jリーグ発足の年に中学卒業しました。

田村 慎平 (本所フルーツステーション勤務)

- ・チーズが好きで、ちょっと良いものをビールか日本酒と一緒に楽しんでいます。
- ・休日は温泉！
あっついお湯のあたご温泉が気に入っています。
サウナも好きです。



これからよろしくお願ひします！

石田 有希子 (農業振興課勤務)

- ・炊きたてご飯が大好きです。更に明太子があればテンション上がります。
- ・実はプリキュアが好きです。

腹ペコったらご飯を食べて
デリシャスマイルしましょう！



果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



5月の果実動向は、大型連休を迎え人の動きは活発だったものの、高値により荷動きは鈍化傾向となりました。

イチゴについては終盤を迎え、流通量の減少と消費地の気温上昇に伴う品質低下により、弱含みとなりましたが、値ごろ感により荷動きは一時的に安定しました。

スイカ・メロンについては入荷数量が増加し、カット売りを中心に売場は拡大されましたが、消費地の気温が予想より上昇しなかったことにより荷動きは鈍化しました。

サクランボについては燃油高の影響から、施設の生育遅れが発生し、母の日需要に対応が間に合いませんでした。また、流通量が少ないことにより、売場は広からず、弱含みとなりました。

リンゴについてはサンふじが概ね終了を迎え、売場は有袋ふじとの切り替わりとなりましたが、高

値基調から緩やかな荷動きとなりました。一方でジョナゴールドは総体量が少なく、高値の有袋ふじに比べると安価なことから比較的安定した販売となりました。

今後、スイカ・メロンについては入荷量増加が見込まれ、消費地の気温上昇に伴い、引合いは強まるものの、引き続き高値基調の販売となる予想のため、荷動きの回復は限定的なものと考えられます。

サクランボについては山形県産の入荷が見込まれるものの、流通量が少なく、単価高で推移するため、荷動きは鈍い状況が予想されます。

リンゴについては、引き続き単価高、冷蔵棚での販売など売場の狭い状況が続くため、企画の組まれやすい40・46玉については比較的引き合いが見込まれるものの、36玉以上については荷動きが鈍い状況となる見込みです。

輸入果実についてはキウイ・チェリー・バナナが売場の中心となります。国産果実の単価と比較すると安価なため、一定の引き合いが見込まれます。

当JAでは残すところ、サンふじ・ふじ・ジョナゴールド・シナノゴールドの1MCP品のみ販売となります。

今後、消費地の気温上昇が見込まれるため、品質調査を行いながら、引き続き有利販売に努めます。



丁寧にトラックへ積載される飛馬りんご

単価は全農あおもりデータ（5/25累計）、在庫数量は県りんご果樹課作成（4月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	3,343	5,206	3,396	4,092	2,654	3,231
前 年 比 (%)	136	134	126	132	99	126
在庫数量 (ト)	1,114	31,318	3,223	8,305	3,210	46,056
前 年 比 (%)	104	93	71	77	63	87

青年部通信

事務局 佐々木 善久



5月14日、青年部は参加者20名が2班に分かれ、もち米の田植えと相馬こども園の草刈り及び農園の耕起作業を行いました。

田植え班は、畦畔周りの草刈りを行い、その後、隣接する園地への漏水防止に波板を差し込む作業を行いました。

終了後、いよいよメインとなる田植えが始まりました。機械のオペレーターは役員の福島秀幸さんが努め、苗板の補助には、今年初経験となる部員の熊谷光太さんと事務局の私が努めさせていただきました。

ました。

こども園班では、役員の福田耕正さんを班長に作業を行いました。草刈り作業では、園児が遊ぶグラウンドをメインに部員らは丁寧に刈り取りを行っていました。園内の窓からは、園児達が興味津々な様子で作業に見入っていました。畑の耕起作業では、女性部の方々が事前に撒いていた肥料を耕運機を使って丁寧に耕起していました。これから、野菜の苗が植えられ、おいしい野菜が育ち園児達が食べてくれるのが楽しみです。



今年も青年部産もち米
田植えしました。
販売まで
楽しみにしてください。



☆☆ 青年部の新入部員 ☆☆

としたか
山内 駿享 さん



五所地区

去年、神奈川県横浜市からUターンしてきました。消防団などに顔を出すようになって、色々な人に青年部を勧められて入部しました。みんなで作業するのが楽しいので、入部してよかったと思っています。

三上 翔平 さん



黒滝地区

実家が農家なので、農園を継ぐために就農しました。JAに勤めていたので知っている方が多く、青年部へは先輩方に誘われて入りました。りんごの作り方もみんなに聞けるので、たいぶ助かっています。

いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。毎年恒例の「花と緑の市」(4月29日～5月8日)を開催いたしました。今年も雨の日があったり、強風の日があったりと、あまり天候に恵まれない中での開催となりましたが、県内外から多くのお客様に足を運んで頂き大きな賑わいの中無事終えることができました。特に、花の売れ行きが良く、中でもペチュニアやマリーゴールド、シバザクラなどが人気でした。苗はナスやキュウリ、ミニトマト、桃太郎などの大玉トマトを中心にスイカ、メロン、ピーマンなども売れ筋となりました。現在店内において、タケノコ、ワラビ、ミズなど旬の山菜がたくさん並んでおります。朝取りの山菜を天ぷらや煮物などで美味しく楽しんでみてはいかがでしょうか。



ご好評いただいた花売り場

直売所「林檎の森」

所員 児玉広樹



また、大変ご好評頂いております。また、当JAのCA貯蔵りんご(ふじ・シナノゴールド)は完売致しました。たくさんお買い上げ頂きありがとうございます。これから夏に向けて地場野菜やフルーツなども多数店頭に並びますので、ぜひ直売所の方へ足を運んでみてください。スタッフ一同よりお待ちしております。

生産情報

農業振興課主任 田中裕滋



○りんごの生態

管内のりんごの肥大状況は6月1日現在でふじが19.8ミリ（管内平均）と昨年より2日程度早い生育となっております。

近年は成らせすぎの園地が目立っております。良食味と隔年結果防止のため、適正着果に努めてください。

○りんご作業（6月15日～7月15日）

・追肥は今月末まで
追肥を計画している園地では、樹勢や着果量に合わせて、6月末までに実施しましょう。

・徒長枝（バヤ）整理はこまめに
徒長枝の整理は、薬剤の通りを良くし、葉や果実を病害虫から守るだけではなく、徒長枝はナミハダニのすみかとなり、剪去する事によって密度低下に効果が期待できるので、不要な徒長枝は剪去しましょう。

・袋かけは7月10日頃をめどに
袋かけは早いほど着色向上の効果が高くなります。そのため、遅くとも7月10日頃をめどに袋かけを終了し、被袋期間を75日以上確保しましょう。また、袋かけ前の薬剤散布は丁寧に行い、散布後5日以上経過してから袋をかける場合は、実洗いを行いましょう。

★内袋の【青】と【赤】の違いとは
○【青】は遮光率が高い為【赤】より日ヤケが多くなる危険性があります。しかし、【赤】より濃い着色が期待できます。内袋は、外袋をはいでから、2、3日後にはぐようにし、はぎ遅れないようにしましょう。

○【赤】は、【青】より比べ遮光率が低く日ヤケが少ない傾向にあります。内袋は、外袋をはいでから、7日後までにはぐようにししましょう。

園地の栽培状況などを加味して、自分にあつた内袋の色を選択しましょう。

○水稻

苗の活着後は、平均気温が高い時は浅水にして分けつを促進し、逆に低い時は深水にして低温障害の発生を防ぎましょう。なお、水のかけ流しはしないようにしてください。

移植後の水管理は、天候の良い日は2～3cmの浅水にし、低温が続く時は5～6cmのやや深水にして、分けつを促進して下さい。

管内のりんご肥大状況（6月1日調査）

	湯口	紙漉沢	相馬	平均	昨年	平年
ふじ	20.9	19.5	19.1	19.8	17.5	14.6
王林	23.5	21.4	21.8	22.2	21.0	17.2
つがる	22.2	19.0	17.4	19.5	17.9	16.1

※単位は（mm）平年値は過去10年間平均値

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
7	500 $\frac{1}{L}$	7月上旬	オキシラン イカズチWDG ウララDF カルシウム剤	500倍 1500倍 4000倍	○輪紋病の重要防除時期となるので、有効な薬剤を降雨前に散布してください。
8	500 $\frac{1}{L}$	7月中旬	キノンドー顆水 ユニックス顆水 トランスフォームF カルシウム剤	1000倍 2000倍 4000倍	○褐斑病対策としてユニックス顆水2000倍を加用してください。

りんご病害虫防除暦（第7回目～8回目）

所員 小山内 一翔



いつも当SSSをご利用いただき誠にありがとうございます。組合員の皆様、平素、携行缶へのガソリンの販売記録にご協力いただきありがとうございます。

5月の原油情勢について

欧州連合（EU）がロシア産原油の禁輸措置導入を検討していると報じられたことを背景に、供給量ひっ迫の懸念から相場が押し上げられています。また、感染再拡大が続いていた中国の一部地域で行動規制が緩和され、中国における原油需要の回復見込みから原油価格が高騰すると思われる。

洗車機についてのお知らせです

4月から洗車の値段を1000〜2000円値上げしました。この時期になると花粉や黄砂により車の汚れが目立ちます。洗車で車を綺麗にしませんか？

皆様にお願ひがあります。洗車



様々なメニューでお待ちしております

7月 イベントカレンダー

- 毎週木曜日はレギュラー・ハイオク・軽油が2円引き
- 10日・20日・30日は灯油が2円引き
- 毎週火曜日はポイント3倍デー

のタオルの盗難が多発しております。使用後は必ず返却してください。よろしくお願いいたします。

これからも当スタンドのご利用をスタッフ一同お待ちしております。

いきいき女性部通信

事務局 石田 有希子



女性部ではこの5月、大きく3つ活動がありました。

- ① 相馬小学校りんご学習（受粉）
- ② 渋谷種苗より種と苗の購入
- ③ 相馬こども園農園の野菜定植

今回は女性部活動としてあまり知られていない、②についてお知らせします。

この活動は8年前の春から、青森市にある渋谷種苗社長の渋谷幸雄さんに講師をお願いして『野菜作り講習会』と併せて行っているものです。渋谷社長はRABラジオ毎週土曜朝に放送されている『畑でグラツツエ』にて、ガーデニングや園芸情報をお届けされています。

「渋谷社長の話は面白くて2時間があっという間！」

と楽しみにされている女性部員が多くいらっしゃるので、コロナ禍以降は種と苗の注文のみ、事



2016年に開催した講習会の様子

務局でとりまとめをしております。中でも人気のミートマトぶによぶによぶはオリジナル商品で、今年はぶによぶによぶグリーンが新たに発売され、早速購入された女性部員もいました。

来年度はぜひ、本来の形で『野菜づくり講習会』を開催したいです！

topics

巡回講座開催

01

5月17日、現地巡回講座が管内12カ所で開催され、中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室をはじめ、振興課、販売課の職員が各場所を回った。

近年成らせすぎの園地が目立っているため、摘果剤も併用しながら作業を進めることや、気温上昇によるダニの発生と薬剤散布効果の観察方法などが強調されていた。また、農作業安全についても説明され、事故や熱中症などのリスク管理を学んでいた。



紙漣沢地区で組合員へ話す田中主任

topics

「青天の霹靂」
田植え開始

02

5月19日、ライスロマンクラブが青天の霹靂の田植えを行った。今年は東部作業班からの順番となり、生産者たちは能率的に作業を進めていた。

田圃の凹凸があるなか、真っすぐに田植えをしていくには細かいハンドル操作が必要であり、熟練している生産者らは美しい植苗の直線を作り出していた。

爽りの秋を迎えるのか今から楽しみだ。



真っすぐ苗を植えていく生産者

topics

清水森ナンバ苗配布

03

5月27日、津軽藩ねがた村にて注文分の清水森ナンバ苗の配布が行われた。相馬管内では毎年、沢田地区の大澤きみさんと大澤八基さんが生産される清水森ナンバが、7月上旬から直売所『林檎の森』の店頭を鮮やかな緑色で彩られる。

苗を受け取ったきみさんは「毎年楽しみにしてくれるお客様のために、今年も元気にナンバを作ります」と意気込んでいた。



苗を受け取る大澤ハキさん（左）大澤きみさん（右）

topics

相馬ハンタークラブ
鳥獣供養祭

04

5月28日、相馬ハンタークラブは沢田奥の舟打鉦山跡から湯口覚応院へ移設した鳥獣供養塔前で供養祭を行った。昨年までは移設前の場所まで行って草刈り作業なども実施していたが、持続可能な形にしよと、以前から祈禱を行っていた覚応院へ移設することになった。

会長の成田信一さんは、「地域のりんご作りのために今年も活動していきます」と頼もしい表情を見せてくれた。



供養祭を行う相馬ハンタークラブ

地域おこし協力隊 活動記 Vol.85

HAU'OLI CAFE
ハワイアンオードブル

ご予約済み!

5名様用 ¥6,500(税込)

2名様用 ¥4,000(税込)

ご注文は携帯電話・SNSメッセージにて
受取日の15日前にお願いいたします。

お引渡し時間は13時~18時です。
(18時以降はご相談ください)

ご注文・お問い合わせは ハウオリカフェ 080-2838-5589 まで



HAU'OLI CAFE の Hawaiian Box Lunch

ロコモコBOX ¥600 ハンバーグを具えたロコモコにソースをまっとうり	モチモチチキンBOX ¥500 モチモチで揚げたチキンにハワイアンソース
フリフリチキンBOX ¥500 香ばしくフリフリしたチキンをお楽しみください	ガーリックシュリンプBOX ¥600 フリフリしたチキンにガーリックとパセリでお楽しみください
スライスエッグBOX ¥500 ふわふわのスライスをフリフリと揚げ、ふんわりスライスもエッグも美味しかったです	カレー風味のロコモコ ¥500 (ターメリックライス ¥600) スパイスをたっぷり使ったカレー風味のロコモコ

※ライス大盛りは各 ¥100 です。
※2000円より配達いたします。(送料別) ※配達及びお引渡し時間は10時~18時です。
※前日午後3時までにお電話、又はSNSメッセージにてご予約下さい。
※お振込の上のご注文は前日までにお振込みください。
※ご予約状況により配達時間のご案内に差支えがございます。
ハウオリカフェ 080-2838-5589 弘前市弘前野沢31-4(徳島総合庁舎内)

弘前市内2,000円以上から
配達いたします☆

オフィスにも、ご自宅にも、
そして畑にもお届け致します♪

その他のメニューや出店場所情報などは
こちらからご覧いただけます。

facebook

Instagram

もしくは **080(2838)5589** までお問い合わせください。

皆さん、こんにちは！ 協力隊の佐野です。

今月号は「佐野は退任後どうするの？」第2弾として、「ハウオリカフェ・キッチンカー」の様子や、販売商品などについてお知らせ致します。

3月末に完成しましたキッチンカーですが、どこで見かけてもらえていたら嬉しいです。

お陰様で、4月より様々なイベントにも出店させて頂いたいただきながら、移動販売をスタート致しました！

現在は、青森県内（八戸市を除く）での営業となりますが、今後隣県を含めて営業許可を取得し、少しずつ販売エリアを拡大していきたいと思っております！

また、以前よりデリバリーでお届けしているお弁当やおードブルのご注文も引き続きお承りしておりますので、お気軽にお問い合わせいただけますたら幸いです。

早いもので、今月末をもちまして協力隊の任期が終了となります。相馬の皆さまには本当に本当にお世話になりました。

住まいは相馬地区内ではなくってしまいますが、私達夫婦には相馬の血が流れておりますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します！

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。油売りと放送局とオンベが、畠から逃げて来てゴダグを語っている。

放送局「今の、子供たちの名前はなんだ。読めないよ」

油売り「学校の先生が、呼ぶのに困るだろうな——。当用漢字にも出て来ないような、おずかしい字で……」

放送局「たとえば、五月二十五日の東奥日報に載っている、小学校の生徒の名前が、翔、晟、悠雅、琉斗、瑛昇、凜心、賢翔、そついう名前だ」

油売り「なんと読んだ」

オンベ「いいか。前の方から言えば、シヨウ、シヨウ、ユーガ、ライト、エーシヨウ、リンシン、ケントと読ませるのだぞうだ。こういう名前だと、はじめ、学校の先生たちも困るだろうな——。」

松太郎、又八、竹子、藤雄、
金蔵、熊男、武夫、兵蔵、梅子、
五郎、末子

そついう名前が無くなるな——」

× × ×

放送局「ところで、ロシヤとウクライナのことだが、プーチンのあの目つき……まるで狼おおかみのようなマンガだな——」

オンベ「あの人は、若いとき、刑事のような仕事をしていたぞうだ。だから、今もあのマナグツギだよ。ウクライナの教会まで爆撃したり……バジアドルよ」

晩酌の
おがずを
どうぞと
孫の嫁
極楽ごくらく

編集部をつぶやき～編集後記～

振興課では園地での肥大調査がスタートし、実すぐりについて色々教えてもらう日々です。作業の理由まで理解すると面白さが出てきて、私が得意なうっかりミスも防げそうだと思います。

私生活では、移住4年目にして夫が自給自足を目指し、地域の方にお借りした畑で野菜を作り始めました。キレイにマルチを敷いていたのに、植苗から2日ほどでマルチびりびり穴ぼこだらけの無残な姿に…！
 どうやら夜のうちに獣がやってきたようです。みなさんは野菜畑の獣対策、どうされてますか？ ぜひ教えてください～！
 yuki

理事会だより

5月20日(金)

- 1) 4月末残高試算表について
- 2) 組合員脱退及び名義変更について
- 3) 定款の一部変更について
- 4) 経理規程の一部変更について
- 5) 育児休業等に関する規程、介護休業等に関する規程およびパートタイマーの就業規則の変更について
- 6) 相馬村農業協同組合役員選任細則の一部変更について
- 7) 資産査定規程の一部変更について
- 8) オープン出納機等の導入について
- 9) 貸付関係について
- 10) りんご販売関係について
- 11) 固定資産の取得について

数独

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ？

出題●ニコリ

ルール

- (1) 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- (2) タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

4				7				
		1				8		
	2	3	4				9	
		5			8			
6								7
			1			2		
	1				6	5	2	
		4				1		
				2				8

答えは広報「林檎の森7月号」にて掲載いたします。

考え方

タテ列やヨコ列、3×3マスの各ブロックで、同じ数字が重複しないように数字を入れていくパズルです。計算は不要ですよ。例題で解き方を覚えましょう。右下のブロックには、まだ2が入っていないので、4つある空きマスのどれかが2になるはず。同じタテ列やヨコ列に2がない空きマスは、6のすぐ右のマスしかないので、2の入る場所はここだと決められます。このように、確実に数字が決められる場所を、注意深く根気強く探していきましょう。

[例題]

7	2	9		5	8		6
1			3			4	
4	9			1	3		
	7	8		9	2		5
2			5			7	
6	3	7		4	1		
	1	4				5	3
3			1			6	
5	4	3		2	9	8	

[例題の答え]

3	7	2	9	4	5	8	1	6
8	1	6	2	3	7	5	4	9
4	9	5	6	8	1	3	2	7
1	4	7	8	6	9	2	3	5
9	2	8	1	5	3	6	7	4
6	5	3	7	2	4	1	9	8
2	8	1	4	9	6	7	5	3
7	3	9	5	1	8	4	6	2
5	6	4	3	7	2	9	8	1



5月20日、相馬こども園の農園で、オクラや枝豆など8種類の野菜の定植が行われた。

定植にあたりJA相馬村青年部6人が畑の耕起と草刈りをし、女性部3人が定植指導と手伝いを実施した。

この行事は、地域の子供たちに食と農の大切さについて、土に親しみながら楽しく学んでもらう目的で毎年行われているもので、この日作業をした年長児8人は「大きいスイカになーれ」「私ナス収穫したことある」などと、女性部員へ元気に話していた。

昨年、種から植えた枝豆は鳥に食べられてしまっていた為、今年には苗での定植に切り替えた。平田留美子園長は「今年は初めて枝豆が収穫できるかと思うと今から楽しみです。普段食べる野菜を一緒に作れるのは子供たちにとっても良い機会。JAのご協力があり地域の方と繋がりが持てることも相馬地区ならではの収穫した野菜は、給食の食材や年長児のお泊り会でのカレー作りに使うことを予定しています」と笑顔で話してくれた。

当JAでは引き続き、青年部と女性部の連携活動を実施し、地域活性化に取り組みます。



おいしいピーマンに育ってね



愛情をたっぷり込めて定植



みんなでハイ、チーズ！



ジャガイモを園児と一緒に植える田澤真由美部長

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2022.6 Vol.479

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2022年6月15日

JA 相馬村概況

〈令和4年5月末日現在〉

組合員数	857人
（うち准組合員数	373人）
出資金	615,605千円
貯金額	9,486,470千円
共済保有高	3,171,844万円